

口腔顔面痛とは

和嶋浩一

元赤坂デンタルクリニック

慶應義塾大学医学部歯科口腔外科学教室

口腔顔面痛とは

- 歯、歯肉、舌を含む口腔内、顔面に感じられる
痛み全般を言う
- 口腔顔面痛に関わる活動は、
 - 1) 痛みの基礎研究
 - 2) 口腔顔面痛の予防、診断、治療: **口腔顔面痛専門医**
 - 3) 基礎研究、臨床研究で得られた痛み知識の学生教育
 - 4) 一般歯科医師および関連医療関係者に啓発活動
 - 5) 患者、一般国民に口腔顔面痛を知ってもらう活動

口腔顔面痛とは

歯、歯肉、舌を含む口腔内、顔面に感じられる痛みの**総称**

- 歯や口の中、周り、顔面の痛みは、
 - 1) 歯、歯肉が原因（主には炎症）の痛み（歯原性）と
 - 2) 歯や歯肉の炎症によらない痛み（非歯原性）がある
- 非歯原性の痛みは診断の難しい痛みでもある
 - 歯や歯肉、口の中、周りのややこしい痛み
 - プラス 頬、目の周り、下あご、顔全体のややこしい痛み
- 歯や歯肉の炎症に寄らない非歯原性の痛みの原因は？
 - 咀嚼筋の痛み、神経の病気による痛み、心臓からの痛み

米国口腔顔面痛学会 口腔顔面痛分類

1. 顎関節疾患
2. 咀嚼筋痛
3. 頸部の筋骨格系の痛み
4. 神経血管性痛（一次性頭痛）
5. 神経障害性疼痛
6. 口腔顔面痛に関連する睡眠障害
7. 口腔顔面ジストニア
8. その他の頭痛
9. 口腔顔面痛を引き起こすその他の口腔内、頭蓋内、頭蓋外、および全身性疾患

国際口腔顔面痛分類 ICOP2020

1. 歯周組織および解剖学的に関連する組織の障害に起因する口腔顔面痛
2. 歯痛（歯髓痛、歯周組織痛、歯肉痛）
3. 口腔粘膜痛、唾液腺痛、顎骨痛
4. 筋・筋膜性口腔顔面痛
5. 顎関節(TMJ)痛
6. 脳神経の病変または疾患に起因する口腔顔面痛
（三叉神経痛、三叉神経障害性疼痛、舌咽神経痛、他）
7. 一次性頭痛症状を呈する口腔顔面痛（片頭痛性口腔顔面痛、緊張型頭痛性口腔顔面痛、三叉神経自律神経性口腔顔面痛、群発頭痛性口腔顔面痛など）
8. 特発性口腔顔面痛（口腔灼熱症候群(BMS)、持続性特発性顔面痛(PIFP)など）

日本口腔顔面痛学会 非歯原性歯痛の原疾患による分類2019

1) 筋・筋膜痛による歯痛

2) 神経障害性疼痛による歯痛

発作性の神経障害性疼痛による歯痛: 三叉神経痛、舌咽神経痛など
持続性の神経障害性疼痛による歯痛:
帯状疱疹性神経痛、帯状疱疹後神経痛など

3) 神経血管性障害による歯痛(片頭痛、群発頭痛など)

4) 上顎洞疾患による歯痛

5) 心臓疾患による歯痛(狭心症など)

6) 精神疾患または心理社会的要因による歯痛
(身体表現性障害、統合失調症、大うつ病性障害など)

7) 特発性歯痛(非定型歯痛を含む)

8) その他の様々な疾患による歯痛

患者さんの疑問：口腔顔面痛専門家の言っている
口腔顔面痛、非歯原性歯痛とはどんなものですか？

- 口腔顔面痛？最後に「痛」だから痛みの事か
- 口腔顔面って、何処のこと？ 「口・顔」 歯は？
- 非歯原性歯痛とは、「歯の原因に非ずだから」、
虫歯の痛みとは違う痛みか、
原因不明の歯痛、歯肉痛の事か？
- 顔だから、顎関節症の痛みも含むのか？

歯が痛くて歯医者に行ったのに、
原因不明、判らない！
じゃ、私は何処に行けば良いのか

口腔顔面痛外来受診の歯痛の患者さんの不安

歯が痛くて歯医者に行ったら、

- 何でもない、
- 悪いところはない、
- 原因不明、

と言われた、でも痛い

- 痛みがひどくなるのに、
どうしたらいいの？

不安: いつまで続くの？ ずっとこのままなの？
私の体はどうなってしまったの？

口腔顔面痛外来受診の歯痛の患者さんの怒り

歯の痛みを治せる
歯医者はいないのか！

歯が痛くて歯医者に行ったら、

- この虫歯、充めれば治ると言われて、充めたのに、
- 神経抜けば治ると言われて、
神経を抜いたのに、根の治療をしても、
- 歯を抜けば治ると言われ、抜いたのに
- 治らないから嫌々、手術までしたのに

痛みが治らない、ひどくなる

こんなに一生懸命通っているのに、ずっとこのままなのか！

原因不明の歯痛、口痛、顔面痛で苦しむ 患者さんへ

- 歯を含めて口の中、周りやあご、顔などに生ずる痛み全部を大枠で口腔顔面痛と言います。
- 歯科では、むし歯や歯周病による痛み治療は得意ですが、残念ながら、歯が痛いにも関わらず虫歯や歯周病などが無い場合にはお手上げでした。
- このような歯や歯肉に原因がない、原因不明と言われる、ややこしい痛みを非歯原性歯痛(歯の原因に非ず)と言い、口腔顔面痛専門医の得意とするところです。

ややこしい痛み、口腔顔面痛の原因

- 一番多いのは咀嚼筋という噛むための筋肉の痛みです。
 - 筋肉の痛みは異所性疼痛と言われる、痛み原因から離れた部位に痛みを感じさせます、その代表が筋性非歯原性歯痛です。
- 次に、三叉神経痛や帯状疱疹、帯状疱疹後後神経痛と言った顔面の三叉神経が障害されることによる痛み、
- その他に、舌痛症（口腔内灼熱症候群）、片頭痛や群発頭痛などの頭痛、上顎洞炎による痛み、心筋梗塞、狭心症などによる痛み
- 一般歯科、耳鼻科、ペインクリニックで調べてもなかなか原因や病名のはっきりしない上記の原因に寄る痛みの場合があります。

非歯原性の痛み（口腔顔面痛）

1) **筋・筋膜痛**による口腔顔面痛

2) **神経障害性疼痛**による口腔顔面痛

発作性の神経障害性疼痛による口腔顔面痛：三叉神経痛、舌咽神経痛など

持続性の神経障害性疼痛による口腔顔面痛：帯状疱疹性神経痛、帯状疱疹後神経痛など

3) **神経血管性障害**による口腔顔面痛（**片頭痛、群発頭痛**など）

4) **上顎洞疾患**による口腔顔面痛

5) **心臓疾患**による口腔顔面痛（**狭心症、心筋梗塞**など）

6) **精神疾患または心理社会的要因**による口腔顔面痛

（身体表現性障害、統合失調症、大うつ病性障害など）

7) 特発性口腔顔面痛（非定型口腔顔面痛を含む）（**痛覚変調性**）

8) その他の様々な疾患による口腔顔面痛

口腔顔面痛、非歯原性歯痛の治療は

治療の前に、患者さんの**解釈モデル**(自分の病気をどのように理解しているか)を確認しましょう。

最終診断された病態に対して各種ガイドラインに従って治療を行います。

- 筋痛障害には筋緊張の自覚、ストレッチなどセルフケア指導にはじまり、超音波療法、トリガーポイント注射などを行います。
- 神経障害性疼痛には標準治療薬を用いた薬物療法が行われます。
- その他、必要に応じて頭痛専門医、脳神経内科、脳神経外科、精神科、心療内科、心理療法士、耳鼻咽喉科、ペインクリニック、といった関連診療科と連携して治療します。

原因不明の歯痛、口痛、顔面痛の患者さんを診る際は

- 一般歯科、耳鼻科、ペインクリニックなどを受診しても原因や病名のはっきりしない痛みの場合、歯や歯肉に原因がなく、原因不明と思われる、ややこしい痛みの原因は非歯原性（歯の原因に非ず）であることがほとんどです。
- 非歯原性の痛み患者さんは発症から時間経過し、何軒もの歯科を受診するが痛みは改善せず、満足できる説明も受けられず、困惑し、不安が高まっていたり、怒りを感じていることもあります。
- 痛みは自覚症状が基本、裏付ける所見が無いからと言って、痛みの存在は否定出来ません。 自分の診断に自信を持てなかったら、
口腔顔面痛専門医に紹介しましょう。